



2019年MFJ全日本モトクロス選手権シリーズ 第3戦 中国大会 公式通知 No.3 (承認ジュニアクロス/承認チャイルドクロス)

開催日 2019年6月1日(土)～2日(日)
会場 世羅グリーンパーク弘楽園 <http://sera-korakuen.com/>
〒722-1732 広島県世羅郡世羅町黒淵 728 TEL:0847-27-1755
主催 MFJ 加盟団体 中国モーターサイクルスポーツ協会

本大会に出場する全クラスのライダー及び登録ピットクルーは2019年度MFJライセンス(有効期限2019年4月1日～2020年3月31日)が必要です。
エントリーをされた方でも2019年度MFJライセンスに登録されていない方は、本大会への出場を拒否します。

***チャイルドクロスご参加の皆様へ** ※チャイルドクロス(CX)にご出場される方は、小学3年生以下です。

日頃から、お子様とともにモトクロス競技会にご参加頂き、ありがとうございます。全日本モトクロスに併催されるチャイルドクロスは、コスト抑制と安全性の保持並びに公平性の維持を基本理念に、参加者の皆様が楽しみ、充実感を得て頂くクラスです。保護者の皆様におかれましては、2019国内競技規則「付則18-2、50ccクラスの仕様について」(279ページ～)を熟読し、お子様のレースがより一層楽しく開催できるようにご協力下さい。

1. **タイムスケジュール** 別紙、公式通知No.1をご確認下さい。
2. **大会実行組織** 公式プログラムに公示します。
3. **エントリー時の提出** エントリー用紙裏面の出場申込者の誓約書欄に署名・押印が必要です。未成年者は保護者も必ず署名が必要です。
4. **ライダー・ピットクルーの受付及び車検**

1) スケジュール(予定)

【パドック開場時間/閉門時間】 ※パドック入場に関しては係員の指示に必ず従って下さい。

5月31日(金) メインゲート(第1ゲート) … **14:00**～24:00 フリー

★メインゲートは、14時前でも入場可能ですが、500円の入園料が必要となります!

◆メインゲートバー前での14時までの待機はご遠慮下さい。業務通行の妨けになります。

フリーパドックゲート(第2ゲート) … **14:00**～24:00 フリー

★パドックゲートは、(フリースペースでの場所取りの都合上) 14:00以前の入場は一切できません!

6月 1日(土) 第1&第2ゲート共通 … 5:30～24:00

5月 2日(日) 第1&第2ゲート共通 … 5:30～

【選手・ピットクルーの受付&車検時間】

6月 1日(土) 7:00～8:40 …ジュニア・レディース選手・ピットクルー受付・車検

6月 2日(日) 7:45～8:15 …チャイルドクロス選手・ピットクルー受付・車検

*チャイルドクロスは、選手受付/車検/ブリーフィング/公式練習までを続けて行いますので、参加選手は保護者とともに、走行可能な服装、出場車両、ヘルメットのご準備をしてから受付にお越し下さい。

2) MFJ公認ヘルメットチェックは車検へご持参頂き、必ず確認を受けて下さい。

① **ヘルメットはMFJ公認マークの貼付されたモトクロス用ヘルメット**に限られます。

② 車検にて、車両検査とあわせてヘルメット検査も実施しますので、あらかじめ各自ご準備下さい。

③ 競技会に使用するヘルメットはMFJが公認する製品でなければなりません。公認ヘルメットにはMFJ公認マークが貼付されています。

※近年、並行輸入やネット通販等流通の変化により、正規輸入代理店を経ない製品が一部流通しておりますが、公認を受けた正規製品とは仕様が異なる場合や万コピー商品である場合も想定される為、MFJ公認マークが貼付されていない製品をMFJ公認競技会に使用することは禁止します。

※万一、公認マークが貼られていたにも関わらずマークが剥がれてしまった場合に対応すべく、これまでは競技会の車検において、公認製品であることの確認の後、特別検査料を徴収した上で、現地でマークを貼っておりましたが、正規製品との判別が困難である為、本年より製造メーカーまたは正規輸入代理店に対し、お客様から直接ご連絡頂いた上で公認マーク貼付のご対応を頂くこととなりましたので、くれぐれもご注意下さい

④ ウェアラブルカメラの使用禁止について

本大会の公式練習・予選・決勝に出場する選手が、ヘルメット・ゴーグルならびに装備品(身体)ウェアラブルカメラを装着することを禁止します。

身体以外への装着は、当該競技会の競技監督に認められた場合のみ認められますが、如何なる場合でも、取り外しを指示された場合、速やかに従わなければならない。

3) ブリーフィング

下記時間にウェイトイングエリア付近にて行います。該当クラスの【**出場選手ならびに登録されたピットクルーは全員参加してください。**】

ジュニアクロス(85) : 6月 1日(土) AM 7:50～ 集合場所: 表彰台横付近

チャイルドクロス : 6月 2日(日) AM 8:15～ 集合場所: ウェイトイングエリア付近 ※車両・ヘルメットをご準備下さい。

ライダーズブリーフィングに続けて、モトクロスレースアドバイザー(元IAワークスライダー熱田高輝氏・田中雅己氏)より、走行前講習が行われます

※チャイルドクロスは、選手受付/車検/ブリーフィング/公式練習までを続けて行いますので、参加選手は保護者とともに、

走行可能な服装、出場車両、ヘルメットのご準備をしてから受付にお越し下さい。

4) 提出書類

- ✧ 選手受付時に、有効なMFJライセンス・参加受理書・車両仕様書・健康保険証（コピー可）を提示し、出場資格の確認を受けて下さい。
- ✧ 本大会は2019年度ライセンスが必要です。※車両仕様書は全員に予備が1枚含まれています。**提出は車両1台につき1枚で結構です。**
- ✧ 車検場において、公認車両・公認ヘルメット・車両仕様書の確認を受けて下さい。
- ✧ 同封した「車両仕様書」は必要事項を記入し、受付後に車検に提出してください。
- ✧ 先に選手受付を済ませてから車検を受けて下さい。※受付・車検の時間帯はタイムスケジュールに記載しておりますので、遅れないようお願いします。
- ✧ PCライセンスにて出場する選手は、ライセンスカードに選手と共に登録された保護者1名をピットクルーとして登録できます。ジュニアライセンスで出場する選手のピットクルーは別途ピットクルーライセンスが必要となります。
- ✧ チャイルドクロスの出場資格は小学3年生以下で、車両改造限度も制限されています。また、MFJ公認車両が義務付けられています。
詳細は2019国内競技規則書付則18-2：50ccの仕様、およびチャイルドクロス開催概要を必ずお読み下さい。

5. 表彰・正賞・副賞

正賞と副賞の引き取りは、正式結果発表後、MFJライセンスを持参の上、大会本部までお越し下さい。

チャイルドクロスA/B	各1位～6位	正賞・副賞	チャイルドクロスは全員表彰となりますので、競技終了後、表彰台までの移動および車両の預かりに保護者の皆様のご協力をお願いします。
	7位～全員	副賞	
ジュニアクロス	各1位～6位	正賞・副賞	

6. トランスポンダーについて

- 1) 本大会での出場車両にはトランスポンダーの取り付けを義務付けられます。
- 2) 取り付け位置は、車体進行方向の**左側**です。（トップブリッジ・アンダーブラケットの中間フォーク部分）
- 3) レース終了後、速やかに、本大会本部本部棟2階まで、必ずご返却願います。
出場車両のトランスポンダーは、大会本部「トランスポンダー受付」にてお渡ししております。
 - ① **トランスポンダーを紛失、またはご返却頂けなかった場合は、実費10,000円をご請求させていただきます。**
 - ② 万一、破損した場合は破損した部品をご返却下さい。
 - ③ 取り付け作業は、ライダー自身またはピットクルーが行って下さい。（車検スタッフは取り付けしません）
 - ④ 取り付けに必要なタイラップ、ガムテープ等の機材は、ライダー各自で準備して下さい。（主催者は配布しません）
※タイラップは4本100円で大会本部にて販売しています。
 - ⑤ 走行前には毎回必ずトランスポンダーのチェックをいたします。（初回走行公式練習より装着）
スターティングエリア入り口にてチェックを行いますのでエンジン停止状態でマシンを押しながら1台ずつゆっくりと通過し、担当者の指示に従って下さい。
- 4) 本大会での出場車両にはトランスポンダーの取り付けを義務付けられます。
 - ⑥ レース終了後、速やかに、大会本部2階まで、必ずご返却願います。トランスポンダーを「紛失」または「ご返却頂けなかった場合」は、「**実費10,000円**」をご請求させていただきます。
 - ⑦ 万一、破損した場合は破損した部品をご返却下さい。
 - ⑧ 取り付け作業は、ライダー自身またはピットクルーが行って下さい。（車検スタッフは取り付けしません）
 - ⑨ 取り付けに必要なタイラップ、ガムテープ等の機材は、ライダー各自で準備して下さい。（主催者は配布しません）
（タイラップは4本100円で大会本部にて販売しています）
 - ⑩ 走行前には毎回必ずトランスポンダーのチェックをいたします。（初回走行公式練習より装着）
スターティングエリア入り口にてチェックを行いますのでエンジン停止状態でマシンを押しながら1台ずつゆっくりと通過し、担当者の指示に従って下さい。

トランスポンダーは、土日の事務局開設時間内に必ずご返却願います！

7. 公式車検・音量測定・車両保管

- 1) 選手受付にて受付印を押した車両仕様書を持参の上、車検時間内に車両・ヘルメットの検査を受けて下さい。
 - ① 予選スタート前にサイレンサーにベイントをつけます。予選通過者およびリザーブライダーは、予選終了後、公式通知No.1タイスクで定められた時間内に予選で使用したサイレンサーを車両にとりつけた状態で、2mMAX方式の音量測定を受けなければなりません。測定に合格したサイレンサーには、予選スタート前に付けられたベイントと違う色のベイントでマーキングされ、決勝レースに使用可能と判断致します。（スベアサイレンサーも同様）
 - ② レース中サイレンサーが破損し競技役員の指示により交換する場合は、ピットエリアにてサイレンサーを交換してコースインしてください。
 - ③ レース終了後パドックに戻らず、予選時に使用したマーキング済み（破損）サイレンサーと交換するサイレンサーを両方用意し、故障・破損による交換であることを車検にて確認を受けてください。
 - ④ 規定値を超えた場合、もしくは車検に申告せずパドックに戻ってしまった場合は、失格となります。
- 2) 決勝レース終了後、ジュニアクロス、チャイルドクロス A クラス・B クラスの各 1～6 位までの車両を保管し、最終車両検査を行います。
- 3) 必要に応じて分解検査を行う場合があります。分解検査を行う場合、当該ライダーまたはそのライダーに登録されたピットクルーが分解しなければなりません。
- 4) チャイルドクロス出場車両は 2019 国内競技規則「付則 18-2 50cc クラスの仕様について」（284 ページ）に記載されている規則を遵守した、**MFJ 公認車両**でなければなりません。
- 5) ジュニアクロス出場車両は 2019 国内競技規則「付則 17 モトクロス基本仕様」（265 ページ）ならびに「付則 18 国内モトクロスの仕様」（276 ページ）に記載されている規則を遵守した、**MFJ 公認車両**でなければなりません。
- 6) ジュニアクロスは、予選終了後、予選出走時にマーキングされたサイレンサーを取り付けた状態で 2mMAX 方式による音量測定を行います。これに合格しなければ、決勝に出場することができません。対象者は必ず測定を受けて下さい。
- 7) 音量規制値：ジュニアクロスは、最大で 114dB/A 以下とします。（2019 国内競技規則 274 ページ 5-3-6）

*レース後の許容誤差は+1 dB/Aとします。(2019国内競技規則274ページ5-3-6-3、5-3-6-4)

*その他、測定場所による誤差があった場合、公式通知にてお知らせします。

8. 公式練習

危険回避の為、全てのクラスにて公式練習の1周目は黄旗が静止で提示されます。ジャンプは飛ばずに徐行で走行しなければなりません。

先導するマーシャルを後ろからあおったり、マーシャルを途中で追い抜いたり、マーシャルがコースから外れていないにも関わらずアクセルを開けるなど、危険な行為は絶対にしないで下さい。(事故発生の原因となります)

- 1) ジュニアクロスの公式練習時間内のスタート練習はありません。
- 2) チャイルドクロスは、公式練習時に右手ヘルメットタッチスタートの練習を行います。
- 3) 公式練習ならびに公式予選に参加しない選手は、決勝レースに出場することができません。

9. 公式予選 (2019国内競技規則254ページ10-1公式予選に則る)

- 1) ジュニアクロスはグリッド決めの予選が1組にて行われます。
(本大会のグリッド数は最大30台とします)
 - ① 予選グリッドの選択優先順位は、抽選で決定します。
 - ② ジュニアクロス予選レース周回数は、**3周**とします。
 - ③ 予選レースのサイティングラップ(下見)は行いませんので、公式練習で確認して下さい。
- 2) チャイルドクロスの予選レースは行いません。

10. 決勝レース

- 1) 決勝レース時間
 - ◇ ジュニアクロス (85)・・・10分+1周(フルコース) ※サイティングラップあり
 - ◇ チャイルドクロス・・・8分+1周(ショートカットコース) ※サイティングラップなし
- 2) チャイルドクロスは安全性を考慮し、スターティングマシンを使用せず、日章旗の合図による右手ヘルメットタッチスタートとします。
- 3) ジュニアクロス決勝のサイティングラップ所要時間は、**4分間**と致します。(チャイルドクロスは、サイティングラップを行いません)
↑天候等の理由により、変更される場合があります。
- 4) ジュニアクロスの決勝スターティンググリッド優先順位は予選結果に基づき決定されます。(※如何なる場合も完走者が優先とされます)
- 5) チャイルドクロスの決勝スターティンググリッドの選択優先順位は、抽選で決定されます。

11. ジュニアクロスのレース進行について(2019国内競技規則 260ページ～ 20スタート)

- 1) スタートの手順は2019国内競技規則「全日本モトクロス選手権大会特別規則」(260～262ページ20-2、20-3)に基づき進行します。
 - ① レース開始時刻の10分前までにウェイティングエリアへ集合する
 - ② レース開始時刻または当該レースへの出場者が全員揃った時点(タイスク上の開始時刻より早まる場合もある)で進行役員が移動を指示する
 - ③ 進行役員にスタートエリアへの移動を指示された最初の選手が動いた時点からウェイティングエリアに遅れて到着した選手は最後尾のグリッド選択順となる
 - ④ 最後尾の選手がスターティングエリアへの移動を開始した時点で、プレバレーションエリアのゲートを閉鎖する(これ以降に到着した選手は出走できない)
 - ⑤ プレバレーションエリアゲートが封鎖された後からサイティングラップが開始されるまでの間にグリッドに空きがあれば、リザーブ選手の出場が認められる。
 - ⑥ タイムスケジュールに遅れが生じる場合もございますので、放送や公式通知において、レース開始時刻を各自必ず確認して下さい。
- 2) 競技中のサインエリア及びピットエリアでの傘の使用は禁止します。また、スターティンググリッド前方の修復は認められません、違反した場合罰則が科せられます。
- 3) 当該クラスに出場しているライダーに登録されたピットクルーのうち、1名だけは、進行員の合図によりスターティンググリッドに入ることが許可され、**自分で選んだスターティングエリア内を、道具を使用せずに地ならしはできます。但し、スターティングエリア内に自分のスタートエリア外からの土等を搬入することは禁止します。**なお、PITクルーの違反行為は、登録されているライダーに罰則が科せられます。(2019国内競技規則261ページ20-3-8-2)
- 4) 公式練習・予選・決勝いずれも大会当日の天候等により、レース時間の短縮、コース・周回数の変更を行う場合があります。
- 5) 主催者の判断により適宜、散水及びコース整備を行います。
- 6) 万一、赤旗が提示された場合、再スタートするまでの時間帯も「競技中」と解釈されますので、自身の判断でパドックに戻る行為や指定エリア外での第三者による援助行為は罰則対象となる可能性がありますので、特にご注意下さい。
- 7) ジュニアクロスのスタート1周目は、ラムソンジャンプを使用せずに右側のう回路からラムソンジャンプ2つ目着地地点より本コースへ進入するルートにて行う。

12. 練習

大会1週間前の5月29日(水)以降はコース造成のため、当会場での練習走行はできません。

5月29日(水)以前の走行は世羅グリーンパーク弘楽園(☎0847-27-1755)へお問い合わせ下さい。

13. 選手・関係者表示

スターティングエリア、ピット・サインエリア、その他主催者が定めた区域は競技役員以外、以下の通り制限されます。

- 1) 一人のライダーにつき最大2名までのPITクルー(有効なライセンス登録者)をエントリー時に登録することができます。
- 2) 登録されたピットクルーはリストバンドを必ず腕に装着の上、2019年度MFJピットクルーライセンスをバスキース(各自が用意)に入れて常時、左腰前部に装着して下さい。※リストバンドの貸し借り等の不正は絶対にお止め下さい。(発見した場合、登録ライダーに罰則が科せられる場合があります)
【ピットクルー用リストバンド： 緑色 ライダー用リストバンド： オレンジ色(橙)】
- 3) スターティングエリア内に立ち入ることができるピットクルーは、「当該クラスに出場しているライダーに登録されたピットクルーのみ(1ライダーにつき1名まで)」とします。スターティングエリアに入るピットクルーは、緑色のリストバンドと2019MFJピットクルーライセンスを見やすい箇所に装着して下さい。また、プレス・レーシングサービス

(PITライセンス所持者のみ)は立入が許可されます。

- 4) 公式練習中に限り、ビットサインエリアにおけるレーシングサービス(ビットクルーライセンス所持者のみ)のライダーのマシンへの作業は認められる。
- 5) 公式練習中に、ビットクルーは原則コース内に入ることは禁止され、指定したエリアのみ立入が許可されます。
- 6) 本大会ビットクルーとして登録されているライダー以外のライダーへのサポート行為は禁止します。※但し、サインボードの提示は除外。
- 7) チャイルドクロスにPCライセンスで出場される選手は、ライセンスカードに選手とともに登録されている保護者1名をビットクルーとして登録することができます。ジュニアライセンスでの出場及び他クラスの選手に登録されているビットクルーは全て2019年度ビットクルーライセンスが必要となります。

ビットクルーライセンスをお持ちでない方は、スターティングエリア・サインエリアへの立ち入りはできません。

14. 会場の入退場チェック

- 選手・チーム関係者・観客を問わず、ゲートを通過する際に、パスチェックを行います。有効なパスを提示できない場合は、入場料金を徴収します。
- ご入場の際は、ゲートにて必ず係員に「車両許可証」および「入場券 or パス or リストバンド」を提示して入場してください。
- 「車両許可証」には事前に車両ナンバープレートと同じ番号を必ず記入し、ダッシュボード右側(右ハンドル運転席側)に提示する事。選手・チーム関係者・観客を問わず、ゲートを通過する際に、パスチェックを行います。
- 車両の場合は車両通行証をダッシュボードの右側に提示。パスは人数分必要になります。
- 有効な車両通行証またはパスを提示できない場合は、入場料金(車両通行代金)を徴収致します。

※上記を厳守せずゲートに来られた場合、入場がストップし渋滞が発生する等で他のエントラントに大変迷惑が掛かりますので厳守して下さい。

また、場内外での事故等のトラブルには一切関知いたしませんので、十分にご注意ください。

15. コースの下見について

競技開始前(公式練習開始前)、昼休み時間、競技終了後(最終クラスのレース終了後)のコースの下見は、可能です。

予選・決勝のインターバル(前レース終了後バックマージルがゴールラインを通過してからタイムスケジュールに明記された次レース開始時刻までの間をさす)は、本大会に出場しているライダーのみコースの下見は、可能です。

※如何なる場合でもマージルまたはコース役員にコースからの退出を指示された場合は、速やかに退出して下さい。

※コース内に入る者は、その他の者と判別ができるようにライセンス(パスケースに入れていつでも提示出来ること)と、リストバンドまたはクレデンシャルを装着して下さい。

※レース進行の妨げにならないように、十分ご注意ください。万一、競技進行に弊害が生じたと主催者が判断した場合や資格の無い者がコースに入ったことが発覚した場合など、主催者の権限により、下見が禁止されることもあります。

16. ビットサインエリア …… 本大会のビットサインエリアは2か所とします。

場所：①スタート後のビットサインエリア、②最終コーナーからの立ち上がり左側のサインエリア

- 1) 本大会ビットクルーとして登録されているライダー以外のライダーへのサポートは禁止します。※但し、サインボードの提示は除外。
- 2) ビットクルーがサインボードを提示する際、走行中のライダーに接触しないよう充分注意すること！(コースに出っ張り過ぎない！速やかにボードをしまいサインを出す時間を最小限に！)
- 3) ビットサインエリアは、一方通行となります。出口からビットエリアへの進入、ビットエリア入口からの退出(コースイン)、ビットサインエリア内での逆走などは、すべて危険走行とみなし、ペナルティの対象となりますので、充分ご注意ください。
- 4) ビットサインエリア内は徐行走行でなければなりません。徐行より速い速度で走行したとオフィシャルに判断された選手は、危険走行とみなし、ペナルティの対象となりますので、充分ご注意ください。

17. エントラントの定義 全日本モトクロス選手権シリーズにおける“エントラント”とは、ライダー、当該ライダーに登録されたビットクルー、当該ライダーのエントリー用紙に記載されているチーム代表者のいずれかである。

18. パドック他施設の使用について

指定した選手パドック内をご活用ください。指定外を利用された場合は、撤去、移動して頂きます。

通路は移動の妨げとなるため、設営を禁止します。撤去、移動して頂きます。

“一般観客駐車場でのテント設営・火気の使用は禁止とします。”

“パドック・駐車場では譲り合いの精神で、スペースの有効活用にご協力下さい”

- 1) パドックオープンは、5月31日(金)PM2:00とします。【フリーパドックゲートオープン】
指定されているチームの方、フリーパドックゲートまでは、それ以前でも入場は、可能ですがメインゲート通過時に500円が必要となります。
PM2:00以降は、メインゲートはオープンいたしますので、料金は発生いたしません。なお、指定されていないチームの方でPM2:00までこちらのメインゲートにて待機を行われる方は、ゲートバーの前にてお待ちにならずにゲート手前にて時間までお待ちください。
- 2) 参加者は同封にて送られた車両通行証には事前に必ず車両番号(ナンバープレート)を油性マジックで記入し、車両の外から確認し易い場所に明示の上、同封のパスを提示して入場下さい。【リストバンドは手首に巻いた状態のみ有効です。手持ちのリストバンド(手首に巻いていないもの)は無効です。切れた場合は切れたリストバンドを捨てずに大会本部へ持参し、新しいリストバンドと引き換えてください。手首に巻いたリストバンド以外は有効な入場パスと認めません。】
- 3) 別紙パドック表にて確認を頂き、記載されたスペースへ白線内に係員の指示に従い駐車して下さい。
- 4) 本会場はパドックとコースが隣接しておる為、事故防止の為、スクーターなど原動機付きの車両ならび自転車での移動も禁止致します。
- 5) 競技用車両の移動乗車時は必ずヘルメットを着用して下さい。着用せずに乗車した場合、誰が乗車していたかに関らず当該車両で出場している選手に対してペナルティを科すものとします。
- 6) 施設内に一部公道が存在します、公道を通る際ならびに係員の指示があった場合は必ず、競技車両から降り、押して移動下さい。
- 7) その他、パドックの割り当てについて係員より指示があった場合は、これに従って下さい。

パドック内での宿泊は、周囲に迷惑をかける行為（飲酒や深夜までの騒ぎ声など）は絶対にお止め下さい！

迷惑行為を行った上、主催者の指導に従わない場合は、会場から撤退して頂く場合もございます。

最近、パドック内で盗難事故発生等の報告を受けており、貴重品は、各自の責任において厳重に管理して頂くようお願いします。

19. スポーツ安全保険制度 ※詳細は2019MFJ国内競技規則417ページを必ずお読みください。

※【MFJメディカルパスポート】に必要事項をご記入の上、ライダーご本人またはチームでの保管・管理をお願い致します。

ダウンロードURL <http://www.mfj.or.jp/user/contents/shinseisyo/shinseisyo-alljapan.html>

1) 怪我、体調悪化した場合の対応について

大会開催期間中に負傷または体調が悪化した場合は、まずは本大会救護室で診察を受け、負傷者名簿の記録を受けることを義務付けとします。救護室での記録が無い場合、スポーツ安全保険の給付請求を受けられない場合があります。軽傷であっても必ず救護室に届けて下さい。

2) 救急車の要請について

- ① 近隣住民や病院に迷惑をかけてしまう場合もありますので、競技開催時間内に、大会主催者（救護）を介さず、参加者や観客個人の判断で直接救急車を絶対に要請しないで下さい。競技時間内は、救護室に医師が常駐しておりますので、体調・具合の悪い方は、まず救護室で診察を受けて下さい。
- ② 健康保険証（コピー可）を持参されることを強く推奨します。
- ③ 負傷状況により、主催者（救護）の判断で外部病院へ搬送（または指示）される場合があります。その場合は必ず付添者が同行して下さい。病院での治療費は各自の責任においてお支払下さい。（今後の大会運営に支障をきたす為、治療費の未払いは絶対にしないこと！）
- ④ 救急車による搬送先は、病院の受け入れ状況により異なる場合がありますので、搬送時、係員にご確認下さい。大会主催者より、外部救急を呼んだ場合、救急隊が病院を決定いたします。

20. 脳震盪と診断された選手の参加対応について

MFJセーフティ委員会・メディカル部会の決定に基づき、転倒事故等で脳震盪と診断された選手は、次に出場する大会の主催事務局に脳神経外科で受診し、症状に異常が無いことを証明する診断書を提出しなければ、出場することができません。

また、公式練習・予選レース・決勝における転倒事故等で脳震盪の疑いのある選手は、当該競技会のレーシングドクターの診断を受け症状に異常が無いことが確認された上で大会審査委員会の許可を得なければ、当日の競技会の出場を拒否される場合があります。【国内競技規則書41頁 第3章 競技会 14-5参照】

21. 緊急病院連絡先

公立世羅中央病院（世羅郡世羅町本郷918-3）

TEL：0847-22-1127



公立みつぎ総合病院（広島県尾道市御調町市124）

TEL：0848-76-1111



※救急搬送先は病院の受け入れ状況により上記と異なる場合がありますので、搬送時、係員にご確認下さい。※病院での治療費は各自の責任にてお支払い下さい。

22. 重大事故発生時、関係当局へ協力をお願い

万一、競技中等、重大事故・事件が発生した場合、関係当局からの指導に基づき主催者から協力を依頼する場合がございますので、ご協力をお願いします。

23. 大会当日 大会本部 臨時電話 080-2892-6064

大会事務局OPEN時間 6月 1日（土）、2（日）両日ともに、6時30分 OPEN ～ 17時00分 CLOSED です。

24. 規則の解釈について

本書に規定されていない事項については、2019年度版MFJ国内競技規則の第1章、第2章、第3章、第4章および付則15、付則16、付則17、付則18、付則18-1、付則18-2に則り開催致します。また規則の解釈について紛争が起こった場合、最終判断は大会審査委員会が決定します。

この決定に対する抗議は一切出来ません。

24. **必ずお読み下さい** 2019モトクロス規則の変更点について

1) 車両変更

- エントリー締切日から公式車検開始前までに申請した車両を変更する場合、手数料5,000円が発生します。(245ページ18-2)
- 車両ならびにマーキング部品の変更は、同一部門・同一車両メーカー・同一排気量同士に限り、認められます。(245 ページ 18-5)

2) レース終了

- 万一、レース終了の合図(チェッカー等)が遅れて提示されてしまった場合でも、本来終了する時点で終了したと判断し、その順位を有効とします。

(249 ページ 26-3)

- チェッカーを受けた後、主催者の示す“セーフティライン”を越えるまで極端な減速はしないで下さい。(追突防止のため)

(249 ページ 26-5)

※追突防止策として、本大会のフィニッシュライン通過後のセーフティラインを設定致しますので、セーフティラインを過ぎるまでは、極端な減速・停止は行わないで下さい。

3) 集合時刻

- 予選・決勝レース開始予定時刻 10 分前 (または参加者が揃った時点) から、ウェイティングエリアより、進行員の指示で第 1 ライダーがエンジン停止状態で押しながらスターティングエリアへ移動します。(260 ページ 20-2-3、261 ページ 20-3-4)

※補足 …… これまでは、「レース開始時刻の 10 分前」に集合し、参加者全員が揃わない場合は、「レース開始時刻」になるまで待ってから、スターティンググリッドへの移動を開始していましたが、今年から「レース開始時刻の 10 分前」になった時点で移動を開始します。

4) 傘持ちのスターティングエリア入場禁止

- 傘持ちのスターティングエリアへの入場は禁止となります。(262 ページ 20-4-2)

※補足 …… これまでは、競技監督が認めた場合、スターティンググリッド内に「傘持ち」を 1 名入場することを認めていましたが、今年からクラスや気温や天候に関わらず入場できなくなります。エントラントでスターティンググリッドに入場できるのは、開催されるクラスに出場を認められたライダーとそのライダーに登録が認められたピットクルー 1 名のみです。雨天時や直射日光を避ける為にスターティンググリッド内でレース開始までに傘を使用したい場合は、ライダー本人かまたは入場を認められたピットクルーがさして下さい。キャンペーンガールや上記以外のスタッフが規制エリアにおいて傘をさしているのは、ウェイティングエリアまでです。

5) 国際 A 級ゼッケンカラー

- IA1 は白地に黒文字に変更されました。IA2 は従来通り黒地に白文字です。(272 ページ 3-15-9-2)
- IA1 と IA2 のポイントリーダーのみ、赤地に白文字を装着しなければなりません。(272 ページ 3-15-10)

6) 2019MFJ 国内競技規則書 誤記訂正について

- 「2019年全日本モトクロス選手権大会特別規則」255ページ

10-5 予選が行なわれない場合の決勝スターティンググリッドの選択優先順は、~~10-2-1~~ → **10-4-1** または ~~10-2-2~~ → **10-4-2** に準ずる。

【その他嚴重注意事項！】

☆一般観客駐車場でテント設営・火気の使用を禁止いたします。

☆ジムカーナ場を使用した一般有料パドックは、有料申込者以外の使用を禁止いたします。

★ゴミは必ず持ち帰して下さい！（会場内に置いて行かない事）

- ① 天候その他の理由により、タイムスケジュールは変更される場合がありますので、放送等にご注意下さい。
- ② 車中泊される方は、エアコン等の利用でエンジン・発電機をかけたままにすることは、排気漏れや他者に排気ガスを撒く可能性もあり大変危険です。一酸化炭素中毒は死に至る場合もありますので、ご注意ください。
- ③ 全ての参加選手、ピットクルーはMFJ国内規則書、並びに公式通知を熟読し十分理解していなければなりません。
- ④ ガソリンは金属製の携行缶で携行して下さい。
- ⑤ 防火対策として、出場選手は、パドックならびにトランスポーターへ「ABC粉末タイプ 4型(内容量1.2kg)以上」の消火器を各自準備して頂くようご協力下さい。
- ⑥ ガソリン等の引火し易い物も多く使われておりますので、特にパドック内での喫煙は各自で充分に注意を払って下さい。
- ⑦ タバコの吸い殻を会場内に捨てると、火災の原因にもつながるため、会場内では喫煙エリアでの喫煙をお願いします。コースサイドや観戦エリアなど、多くの人が通ったり、集ったりする場所での喫煙は、喫煙する人が注意を払っていても、他人の身体や衣服などにタバコの火があたってしまったら、煙を吸わせたりすることがあります。また、会場内には未成年者も多

- く、タバコを持った手がお子様の顔のあたりに位置するため危険を及ぼすことが有ります。周りの人に迷惑や被害を与えるおそれのある歩きタバコ、啗えタバコは絶対におやめ下さい。
- ⑧ 会場内での競技車両移動時にはヘルメットを着用し徐行運転で場内の歩行者に充分配慮して下さい。（注意しても改善がなければ罰則の対象とします。ピットクルーの違反は、登録された選手への罰則として対応します。）
- ⑨ ライダーは、ライダー用リストバンド（オレンジ色）を腕に装着し、競技ライセンスを各自が用意したバスケースに入れ、走行中以外は常に左腰前部に装着して下さい。ピット作業を行うクルーはピットクルー用リストバンド（緑色）を腕に装着し、ピットクルーライセンスと共に、各自が用意したバスケースに入れて、左腰前部に装着して下さい。（ライセンスの無いバスは無効になります）
- ⑩ バスの不正使用が発覚した場合は、全て該当選手のペナルティーとして対応します。
- ⑪ ゼッケンは規定の文字、色で記入して下さい。規定外の文字で書かれたものや規定外の色の使用は受付できません（守れない場合は修正してもらう場合があります）。また、公式予選、決勝レースでは必ず自分のゼッケン番号が記載されたジャージ又はプロテクターを着用しなければなりません。
- ⑫ ペットは飼い主の全責任の下、必ずリードにつなぐ等管理して下さい。放し飼いや他のお客様の迷惑になる行為は行わないで下さい。ペットによる事故やトラブル等の発生はすべて飼い主と当事者の間で解決するものとし、主催者・施設は一切責任を負いません。
- ⑬ 周辺道路に違法駐車を絶対にしないで下さい。駐車場内・パドック内における事故やトラブルは、施設・主催者は一切責任を負いません。

2019年5月

**全日本モトクロス選手権 第3戦 中国大会
大会事務局 長**